

高等部2年 岸本桜花と関わってくださった皆様へ

はるか

桜花の母です。

令和5年5月17日に永眠した亡娘 桜花との別れの際は
たくさんの方が偲んでくださりまた生前は大変お世話に
なりました事を心より御礼申し上げます。

おかげさまで5月20日に葬儀 6月24日に主人の実家岡山で
四十九日の法要を営み、本骨は好きだった亡祖父の眠るお墓に納骨。
分骨は奈良の自宅に戻ってきました。

桜花とは本当に突然の別れでした。

当日の朝も元気に「行ってきまーす!」とスクールバスに乗って行った子が
フラフラになって帰ってきてそのまま目の前で息を引き取るなど
思いもしませんでした。

急性腎不全という診断にもっと早く気付いてあげれば良かったという後悔と
今後は透析治療の過酷な一生を過ごさないとはいけないうのなら
最後に大好きな学校に行けて桜花らしく逝けて良かったのかもと思う日々です。
ですが17才は早すぎて...まだこれから先も楽しみにしている事が
いっぱいあっただけに長生きしてほしいです。

市役所で手続きをする際、療育手帳や身体障害手帳の返還
登録の抹消など桜花の存在を消されてしまうのがすごく辛かったです。
学校では桜花の机もそのままにお友だちも声をかけてくれているようで
居場所を残して下さりとても有難く思っています。

あらためて生前のご厚情に感謝申し上げます。

そして桜花が繋いでくれたご縁を大切に今後ともよろしくお願ひ致します。

岸本智子